1992年末~93年始 太平天国の故地を訪ねて





上の画像は、どちらも、珠江から見た広州のまちです。私たちが乗ったのは、右の画像の手前のような船

まず、今回の旅行の日程と宿泊地をあげます。

12月25~27日 広州

28、29日 広州~梧州・桂平、船中泊

30日 桂平 31日 柳州 |月|、2日 柳州~杭州、車中泊

3、4日 杭州

5日 広州

6日 深圳(しんせん)

【初めまして王さん!】

広州空港の海関(税関)を出ると、"橘さん"と 大きく書いた紙がすぐに目についた。王さんだ! 「初次見面、請多関照」(はじめまして、よろしく お願いします)、握手しながらこう言おう。いれて 抱き合った方がいいかな、など随分心準備をいしまが、 をが、王さんの方から先に「よくいらっとれて たが、王志勤です」と日本語で挨拶されると私 たて「はじめまして橘です」と日本語で言って れて「はじめまして橘です」と日本語が と日本語が上手だ。 にび終わりになった。王さんは、2年間の日 を留学の経験があるだけに日本語が上手だ。 はあった はなく終わり、私の中国旅行は始まった。

翌朝、6時50分、約束の時間ピッタリ、東海漁村に泊まった王さんが梅花村酒店へ私を迎えにりの雨だそうです」王さんの傘からは、まだしずくが落く日なのでは花県の官禄bu(土偏に布)村へららです。今日は花県の官禄bu(土偏に布)村からられている。今日は花県の官いながら荷物の中から見るでは、と思いながら時期の中から見かった。タクシーの中から見動したいがある。なか、自転車での投がある。なか、自転が力となりがきれいだ。中国の合羽がきれいだ。中国の合羽がきれいだ。中国の合羽がきれいだ。中国の合羽がきれいだ。またしていがカメラ流難というよりではよりではよりではよりではよりではよりではよりではよりでは、また情けない。

【広州のデパートでカメラを買う】

広州港近く、珠江沿いのレストランに入る。鍱江 にはたくさんの船が停泊している。「あさって乗る 船はあれぐらいですかねえ」「いや、400人乗り ということだからもっと大きいのでは」などと話し ながら朝食を摂る。広州には飲茶という習慣がある。 朝は早茶、昼は下午茶、夜は夜茶といって家族で、 あるいは気の合った者同士、あるいは商談しながら 時間をかけてゆっくりと食事をする。今もこのレス トランのいくつかのテーブルはそういう人たちで占 められている。しかし、私たちの今日の予定は忙し い、なんといってもカメラを買わないことには仕事 にならないので、広州一のデパート南方大厦へ行く。 九時開店を少し待って入る。入り口の両側に店員が 並んで挨拶し客を迎え入れる。「日本に倣ってこう いうサービスをするようになったのです」と王さん の説明。日本製のコンパクトカメラを625元(約 |万4千円)で買う。



雨の日の自転車通勤風景

は出発した。車掌 ま、それでもバス

呕

空席を残したま

稻

新華」と叫んでいる。 ら「新華、新華、 は走るバスの窓か

した。「アレッ!これさっ

下午茶、夜は夜茶といって

が「食在広州」とはあまり

十分ほどしてバスは停車

広州駅の近くから花県の

木曜日

広西を起点に広がった。 三年一月六日)には二つの目的があった。 私の中国旅行(一九九二年十二月二十五日~)【旅行の目的】 一つは太平天国の動乱(一八五一~六四、 指導者、 洪秀全。 清末、 中国 九

> 今一つは、 ことであった。 いわれる中国の変貌をできるだけ具体的に知る では太平天国起義という)のルーツを訪ねること 開放経済が進み〝赤い資本主義〟と

私 の旅行記を神戸新聞社が五回にわたって

掲

台湾

載してくれることになったが、 れてしまった。 前者のほうは、 に重点を置いて報告します。 ここでは逆に、 般受けしないと見えて割愛さ 太平天国のほう 私の旅行目的の

(左の画像は、花県の中心地新華)

五科教師の見た 1 «

肌で感じた印象をリポートしてもらいました。 浙江大学教授の王志勤さんの案内で、昨年末から新春にかけ華南を見て歩いた。 教諭の橘雄三さん全0は、明石市中央公民館で中国語を教えたことのある現在は 開放経済が進み "赤い資本主義" といわれる中国。 県立明石城西高校の社会科

中心新華行きのバスに乗 弧 空席が埋まらないから、 う執着「これが社会主義 もうけに対するなんとい 中国?」「これは今はやり また戻ってきたのである。

と出発しないよう

「満席にならない

ですねえ」。と王さ

んに話しかけた。

しばらくすると

き私たちが乗った場所」。 くるカートの肉まんじゅ 時間をかけゆっくりと食 がらウェートレスが押して をする。好みの茶を飲みな

分杭州

金田村福州

広州

西江 か? 中指をそろえ軽くテ を取りに来ない。 ーブルをたたいてい ると、人さし指と の向かいの人を見 で、同じテーブル て置くと、もう注文 王さんが聞くの 「あれ分かります

いう意味なのです。 隣の人に茶をついで なんですか?」 ありがとう、と

もらったのであのようにし

ふかしパンなどをつまむの う、しゅうまい、鶏の足、 悪いません 広州に居る間に面白い習 ているのです」

の中型バスです」と王さん。 の『中巴』と呼ぶ個人営業 変わりゆく中国の姿を垣間

がある。朝は早茶、午後は 広州には飲茶という習慣 言います。意味は同じです いわれるだけあって、味も いいし、品数も豊富ですね」るようにずらしておくと 「中国では『吃在広州』と 「さすが、食在広州」と

たあと土瓶のふたを裏向け インだし、支払いを済ませ 身分が分かってしまうの ほど取っ手のところにかか 慣を幾つか発見した。 「お湯を下さい」というサ 土瓶のふたを外し、半分 うとすると、帝はそれでは で広州へ来た。帝に茶をつ し、ひごまずいて礼をしよ いでもらった家来が恐縮 で、指で軽くテーブルを打 清の乾隆帝がお忍び

と威厳があって様になっ けいだが、王さんがする みた。私がすると、こっ、後の皇帝溥儀にどこか似て 度かこのしぐさをまねて つようにと命じたことから タクシーの運転手と料金を交 始まったそうな。 この時以来、私たちも何 ている。王さんは、 渉する主さん一広州市郊外



【官禄 坊 (以下、「布」で代用 かんろっぷ)村】

広州から | 時間、私たちの乗った中巴(マイクロバス)は、花県の中心、新華に着いた。ここから先は路線バスはない。オート三輪のタクシーを見つける。運転手との交渉の結果、片道 | 0キロの官禄布村往復が、向こうでの待ち時間も入れて30元(約680円)でまとまる。幌付きの荷台で揺られること20分、広東省花県官禄布村に着く。ここに、太平天国最高指導者洪秀全の故居がある。

小島晋治氏の著書によると、秀全の6代前の祖先が広東省梅県嘉応州から移住してきたのが花県の洪氏のはじめであり、官禄布村の起源である。ところで、広東省梅県嘉応州は客家(はっか)の集住地として有名であり、洪秀全が客家だということもまたよく知られている。



官禄坊村入口



洪秀全故居(解放後に復原) 左は王さん



村塾 左端、私たちが乗ってきた三輪タクシー



洪秀全故居の標識



洪秀全故居内部



村塾内部

【広州-(泊)→梧州-(泊)→桂平 二泊三日の船旅】

広州~桂平は、途中、梧州で乗り換え、二泊三日の船旅である。

広州、 I 2時 4 5 分出航。梧州まで 3 4 2 キロ I 8 時間。この船には、二人個室の 3 A、4 人個室の 3 B、蚕棚のような 3 等、折りたたみ寝椅子の 4 等、の四種類がある。私たちは 3 A で、料金は二人で 5 6 元(約千三百円)、大変狭い二段ベッドで、寝ござが敷いてあって小さな布団が付いている。「あっ、ゴキブリ!」小さなゴキブリが三、四匹走り回っている。私は、ちょと汚いこの個室、汗のしみ込んだ寝ござと布団からしてゴキブリもしかたないとすぐ諦めたが、王さんはスリッパでみんな殺してしまった。

梧州は大きなまちである。桂林を流れている漓江はこの梧州で西江に流れ込む。

昨夜の船での寝違いで、王さん首が回らない。相当痛そう。床屋を見つけてマッサージを頼む。6元(約 | 40円)取られたが、あまり効果はなかったよう。タクシーに乗っても、「ドアにもたれたいから右の席」と乗る側を指定するほどの痛がりよう。

昼食後はついにダウン。王さんは歌舞庁(ダンスホール。いたるところで見かけた)のソファーで 休養。私一人の梧州見物となった。



んだ船、いろんな「 んだ船、石炭を積 ほかバナナを満載 が一番多い。その 砂を下流に運ぶ船 運は大変盛んだ。 ぼ)る。西江の水

した船、竹で作っ た篭(かご)を積

に「加油」と大きく書いた かだ)も下ってくる。所々 船が行き交う。竹の筏(い

乗り出して痰(たん)を吐

~二百元罰款」という警告

西江を広州から三

百四十二十口、十

八時間遡(さかの

梧州の食材、 蛇

り効果はなかったよう。昼食後はついにダウン。 歌舞庁(ダンスホール)のソファーで休養。私一 床屋を見つけてマッサージをして貰ったが、あま 人の梧州見物となった。 昨夜の船での寝違いで、王さん首が回らない。

学したときの話をする。一番印象に残っていた蛇 の話をする。 王さんに、昼間一人で港近くの大きな市場を見 (前ページの画像)

> 名が付いているのですねえ」 うちに死んでしまうほど毒が強いから、そういう 「五歩蛇というのは、噛まれると五歩も歩かない 「広東、広西の人は蛇が大好きです」 「蛇を売っている店がたくさんありました」

で家の近くにいます。蛇は目が見えないが、 す。五歩蛇は山にいます。 線を感じて襲います。 「そうです。特に毒が強いのは五歩蛇と金環蛇で これらに噛まれると、 金環蛇は鼠を食べるの すぐ 赤外

> がありません」 に噛まれたところの肉を山刀で削ぎ取るしか方法

寝起きしました。その村には蛇がたくさんいまし の部屋で、年老いた農夫と隣り合わせのベッドで ンのもと、紹興の農村に入りました。豚小屋の隣 五年の二月まで、 「私は、大学を卒業した一九六三年の九月から六 「王さんは、蛇のこと、なかなか詳しいですねえ」 "同吃同睡同労働』のスローガ (次ページに続く)

2

州へ行く日だ。珠江の上流 さわやかな日和。船で梧 ンスタンドだ。 船が浮かんでいる。ガソリく。それが川まで届かない 明るいうちはデッキに立る。 で私のところへ落ちてく

の印象を書いている。 の大学で講師を長く務める の立て看板をよく見た。 イタリア人のMさんが日本 ていて、ハッとした。日本 間もなく、ある月刊誌を見 その中に「どこへ行って しかし、旅行から帰って

ら見下ろす港の風景は、な 気に入った。堤防の公園か んとも静かだ。 今回の旅行で梧州が一番 「この公園を水没させる

こんなわけで川はゴミだュースの捨て場、山に行け う面では日本もまだまだ発 ば弁当箱の山」とあった。 中国と同じではないか。 年の十一月に同じような条 展途上国だ。 例を制定している。こうい 定した。和歌山市も既に昨 末、ポイ捨て防止条例を制 日本では、大阪市が二月 す」とタクシーの運転手が 言っていたが、いま川は、

もゴミだらけ、砂浜は缶ジ 洪水が毎年一、二度ありま 活を支える豚=梧州市内で 自由市場で売られている食生

る。さらには客室から身を なんでも川に捨てようとす このデッキに立っているの 発泡スチロールの弁当箱、 皮、みかんの皮、パンの袋、 が、なかなか大変なのだ。 を見て過ごした。ところが って、できるだけ外の景色 上の客室からバナナの 勿随処大小便。建者処以二 らけだ。列車の旅でも同じ 丢果皮、紙層。勿乱吐痰。 手を焼いているようだ。 だった。中国人民のマナー の悪さには地方人民政府も ったスローガンや「請勿乱 創建国家衛生城市」とい

の向こうには水上生活者の 草を食(は)んでいる。そ 上がった川底が生活の舞台 で子供がたこを揚げ、馬が が作業をしている。その横 になり、あちこちで船大工 はるか下を流れている。干 船が浮かぶ。

時だった。 長い旅で心の休まるひと (文·写真 明石城西高



「大学教授の王

る者の給料は低 私たち教育に携わ

「その通りです。

い。スリも相手に しないのです」

さんの給料はいく

らですか」

どです。私たちを含め、か

「三百元 (約七千円) ほ

葉蛋。という言葉がありま

す。搞は開発するという意

土曜日

私は農村でしたが妻は工場でした。夫婦別居で てからも半年ずつが二度ありました。その時も 「そうです。六六年に結婚しましたが、結婚し 「たしか、〝下放〟と言いましたねえ_ 王さんとの話の続きです。

【王さんとの話(続)】

ということがよく言われました。 「この時代、 「『五七幹校』です」 「この頃、ご主人お見かけしませんが?」 「文化大革命の時代ですねえ」 *五七幹校*(ウーチカンシャオ)

「毛沢東が六六年の五月七日に出した指示、 といった具合いです。

つ

まり、 進し、新しい共産主義的人間を育成しよう、 という意味です」 いう指示のことです。 知識人の労働化、 "幹校"とは幹部の学校 ?人間を育成しよう、と勤労人民の知識化を促

に船は進む。 上弦の薄い月が出ているだけの闇の西江を静

会科教師の見た

>3≪

そこで、大学職員 があります。中国では、満 員バスでよくスリにあう。 「こんな話を聞いたこと つては中国全体の給与水準 味です。茶葉蛋というのは、 が同じだったのです。とこ ろが十年ぐらい前から、商 工業に従事している労働者 卵です 「つまり原子爆弾を開発 の意味。「電脳紅娘、これ の代名詞です。電脳紅娘と

湯に茶の葉を入れてゆでた これはキャッシュカードが ピューター占い。電脳儲蓄、 使用できる貯金というほど ァン)というと媒人(仲人) の町まで「電脳(コンピュ ーター)」大はやりである。 脳儲蓄。桂平のような地方 像・焼き付け・引き伸ば 脳彩拡、これはカラー現 し。電脳算命、これはコン

電脳彩拡、電脳算命、電 露店の卵売り。値段は交渉次 第—梧州港付近

とりもったのが驚々の侍 になり、この二人の仲を て篤々も君瑞を思うよう 恋のとりこになる。やが 「中国では紅娘(ホンニ

コンピューターばやり

り生産したら奨金が出るよの面では、卵売りにかなわな には、目標以上に販売した するほどの学者でも、収入 分かりますか」と問われた。 いうのは、年齢・職業・収 うになりました」 フロントの女の人は月収五 百元と言っていましたよ」 「昨夜泊まったホテルの 「鴻原子弾的不如売茶 ので言葉の面白さもありま い、ということですね」 「そうです。中国語では、

がら旅を続けた。 弾も蛋も無気音のdanなと答えると、「筋を知って 王さんとこんな話をしな 出てくるあの紅娘ですか」 応ずるため上京する途中、 いますか」という。 代の戯曲)の『西廂記』に 篇々という美女を見初め 主人公の張君瑞は科挙に

「紅娘とは元曲(元の時 入・趣味・希望条件など た相手を紹介してくれる しておくと、条件の合っ をコンピューターに登録 という結婚仲介業のこと

「それなら日本でも大は

やりです。私の娘あてにも といったはがきがよく来て 教諭 橘雄三 プライダルチャンス」など(文・写真 そのような業者から「今が います」 明石城西高

【太平天国挙兵の地、金田村】

【桂平の港に到着】

船旅二日目(12月30日)早暁、まだ薄暗い、土砂降りの雨のなか、私たちの船に小舟が横づけになり、客の乗降があった(下の写真)。





とる。低く、船を下り、待合所までずいぶん階段4年の写真は桂平の港。渇水期で川の水位に

【金田起義の地、金田村へ】

この度の中国旅行の一番の目的は、太平天国のルーツを訪ねるというものであった。つまり、指導者、領袖洪秀全の故居のある広東省花県官禄布(土偏に布)村と太平天国挙兵の地、広西壮族自治区桂平県金田村を訪ね、且つ、これらの地点を含め、秀全らが 185 | 年の金田挙兵までに活動した広東省、広西省およびその紐帯となっている西江の空気を吸うことであった。

12月31日、今日は金田村へ行く日だ。7時半に桂平飯店を出てタクシー乗り場へ急ぐ。見かけの一番きれいなのに乗るが実は凄い中古で、途中何度もエンジンが止まり往生する。

桂平から金田村までは26キロある。桂平の町を出てすぐに黔江の渡しにつく。船は五百メートルほどの川幅のところをピストン運転しているが、岸には車の列ができている。煉瓦を積んだトラック、屋根にまで荷物を積んだ中型バス、二輪車を引いたトラクター、解体中の豚一頭をそのまま荷台に乗せたラクター、みんな一緒に乗り込んで出航。5分もすると、向こう岸に到着。船と岸との間に段差があると、向こう岸に到着。船と岸との間に段差があるで私たちのタクシーは、乗るとき、下りるとき、ともに数回ずつエンストした。

黔江を渡ると車は、サトウキビ畑のなかを走る。 サトウキビ畑のあちこちで取り入れ作業が進んでいる。サトウキビを満載して桂平に向かうトラックが つぎつぎすれ違っていく。金田村に入ったところで 豚の親子に出会う。子豚が6、7匹いる。



☆江(けんこう)の渡し

サトウキビの取り入れ





かの親子

"金田起義地址」 標志的

【金田起義の地、金田村へ】

金田村の突き当たりの丘に入ると、すぐに「全国重点文物保護単位 金田起義地址 中華人民共和国国務院」と書かれた「標志碑」が目についた。私が髙校の時に習った世界史の教科書では"太平天国の動乱、となっていたが、中華人民共和国では金田"起義、と呼んでいる。

「やっと来た」と私。

「やっと来ましたねえ」と王さん。

丘を登りきったところが広場になっていて、5、6メートルもありそうな天王洪秀全の像が立っている。このあたり一帯に「演武場遺址」(練兵場址)や「古营盤遺址」(兵営遺址)などがある。

古营盤遺址の入口近くに石碑があり、

「一八五一年一月十一日太平天国革命起義于桂平県金田村。它是中国歴史上規模最大、意義最深刻的農民戦争、也是中国人民受到外国侵略者奴役之后、第一次爆発的反帝反封建的革命運動、太平天国金田起義营盤是一個值得永遠紀念的革命遺址…」と刻まれている。

洪秀全の像の左手を進むと、「太平天国金田起 義紀念館」で、この中に歴史陳列館がある。

ここの資料をいくつか紹介しよう。いずれも当 時の農民の窮状をよくあらわしている。

太平 農地田 天国 民主 革 七 六五 命 三〇土市地 〇土前 夕 占 金 田 五五 有 亩亩 対 村 十八 五十 % H.

上右の資料、中国の | 亩(mu) は | 5分の | へクタール。広さそのものよりも地主と農民の占有割合に注目下さい。

上左の資料、官、吏、甲差、皂隶、頭人、把事 は、政府の役人から村役人まですべて役人。

「一起し、二起し、三起し、四起し、五起し、六起しまでは、みんな役人に持っていかれる労働で、 七起し目と八起し目がやっと自分のものになる」 という意味。



洪秀全の像





演武場遺址」

太平天国金田起義紀念館



【金田鎮の三界廟】

金田起義地址付近には、目にする範囲では、集落といえるほどの農家はない。この地の中心は金



田鎮で、にぎやかな町なかに三界廟と呼ばれる古い建物がある。ここは、太平天国軍が一時、司令部を置いたところで、建物がそのまま残っており、太平天国軍の旗や大砲が陳列されている。

また、この三界廟には太平天国の指導者たちの 多くの詩が掛けられている。そのうちの一つを紹 介しよう。



とえ帝水す。 て のと 左 Z い金は ると う田三 その 川村界 所そし がは廟 時 や流紫にがれ荊張 の 住む てが 来るのを待っている。 て て山际 にそ 天下を いの は納鳳 る麓 て 取る自で まりきら 龍 は 天 こ の 紫荊 分を 王 洪 山鳳鳳山秀 や もから ゃ 全 今紫龍龍らのは前にも紫詩

や水例皇荊



桂平~柳州 長距離バスの車窓からの風景



三界廟前で 右は王さん



10 mm

界廟の内部 洪秀全の像

太平天国軍が使用した大砲



かつて、広州の博物館の庭で、アヘン戦争期の 大砲と、洋務運動期の大砲が並べて陳列されてい るのを見た。前者の拙劣なこと、後者の精巧なこ と、その差に驚いたが、この三界廟の大砲の稚拙 なこと、おもちゃのよう。太平天国軍の農民的正 確をよく現している。

【太平天国まとめ】

【太平天国の歴史的意義・評価】

太平天国はどのように評価されているのか、い ろんな角度から見ていきます。

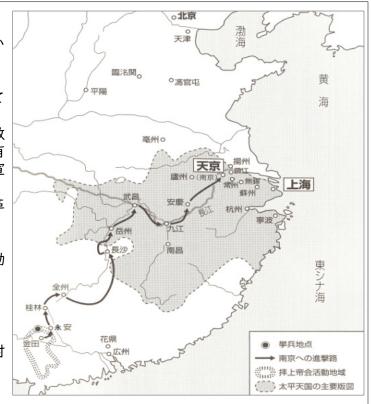
(1)広辞苑の記述

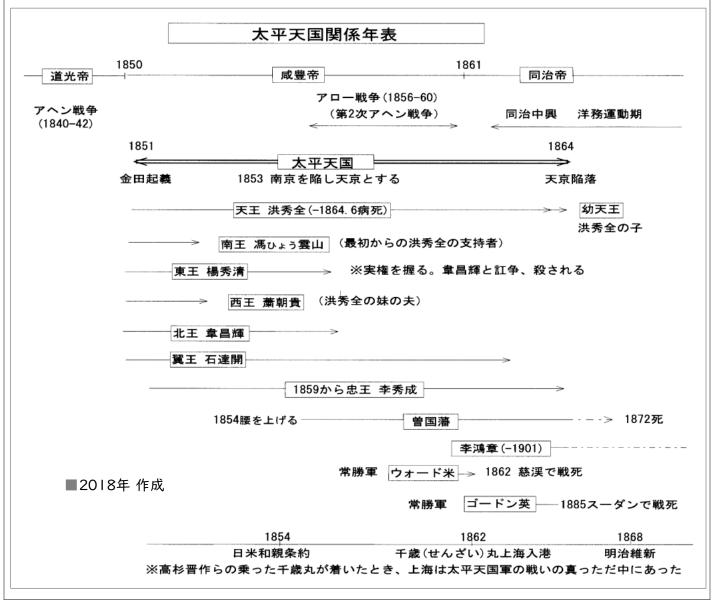
清代、1851年、宗教結社上帝会の洪秀全が建てた国。広西省桂平県の金田村で兵を挙げ、53年、南京を陥れ关策と改めて首都とした。キリスト教の影響を受けた一神教(上帝教)を奉じ、土地私有を認めず、天朝田畝制度を公布し、清朝打倒を宣言して、辮髪を禁じ長髪を蓄えた(長髪賊・髪匪)。64年、曽国藩・李鴻章らに滅ぼされたが、中国革命の先駆として後世に影響を与えた。

(2) 髙校の世界史教科書の記述

山川出版『詳説世界史』では、「太平天国の動 乱」と表記されています。太平天国側、清朝側、 どちらに立つこともない客観的表現と思います。

- (3)中華人民共和国の評価
 - ①「太平天国起義」と表現。義挙なのです。
 - ②洪秀全のふるさと官禄布村に秀全の故居・村 塾を復元、村の入り口に「洪秀全故居紀念館」 を設立、そしてダムに洪秀全水庫と命名。





賓館二十九階の回転レスト

のレストランから ランで迎えた。こ

は、柳江の流れが

死在柳州

質な絹織物を身にまとい、広州の美味 祝いを行う蘇州で生を受け、 る、はく」という意味。 しい食事を食べ、柳州の良質な材木に ざがある。 「子どもの生まれるのを喜び盛大なお (吃)在広州、 中国には「生在蘇州、 「穿」は、 死在柳州」ということわ 身につける「着 穿在杭 言葉全体は、 杭州の上

> う生き方が中国人にとって最高の人生 である」という意味です。 よって作られた棺に入って死 Ŕ とい

木集散地である。 木工の店が多い。 れにしても、 として使う」と言うけれど、 のですが、王さんに聞くと、 ですが、王さんに聞くと、「まな板下の画像、木を横に輪切りにしたも 柳州の駅前の露店、木材、 さすが中国有数の材 本当?そ

【柳州~杭州 軟臥車の旅】

二泊三日の列車の旅だ。 よ、王さんの大学のある杭州へ帰る。 太平天国関係の取材は終了。 いよい

がある。軟臥は個室)にまで乗れて感激「ほんとですねえ。軟臥車(硬臥と軟臥 通機関を全部乗りましたねえ」 「飛行機、船、バス、列車と長距離交

社会科教師の見た

九九三年の元旦を柳州 と高めに両手を握り「新年 好(シンネンハオ)!」 新年好と言うのですか」 新年好!中国では元旦に 私もまねて両手を握り ていると、またウエートレ 元旦もですが、普通、 スが来て、ここは四人掛け の席だから他に移れとい やっと空席を見つけて座っ ここも留座、ここも留座

> れた。私たちの土瓶に湯を新年を迎えた人でにざわう屋 女と何か話している。 注いでくれる。王さんが彼 来ているそうです」 「専門学校の卒業研修で 店の食べ物屋―柳州市 すので」というと、ぶすっ

う。ウエートレスとやりとを元に替えようとした時のけんどんなのですか」 で、トラベラーズチェックの労働者は、あんなにつっ 中国商工銀行の柳州支店 中国の労働者に笑顔を求 へ行っても、服務員の笑顔

、鎖での応

うど先端の所にこ 型に蛇行するちょ よく見える。U字

川の向こうには、 のホテルがある。

よきによき立って 石灰岩の岩山がに

「すばらしい眺

「きれいですねえ」

娘がヤカンに湯を持って現

ねて「すみません、急ぎま

官節の時に言います」 二人で話しているとウエ んだん高くなってくる。 りしている王さんの声がだ ことだ。急いでいて、何度

王さんは、胸よりちょっと表示されている。 ルの上に"留座(予約席) " という。よく見るとテーブ 柄な態度でこの席は駄目だ このまま、ここに座って居 手を止め、何かしゃべって 知識人が一番優しいので トレスがやって来て、横 そこへ、笑顔のすてきなているように見えない。重

「ここの人は不親切です。 ても、服務員二人は仕事の うごせています。中国では か「お願いします」と言っ ありません。社会主義がそ いる。とても仕事の話をし 一中国人がそうなのでは

娘も、もう何年かすれば、 先ほどの研修に来ていた 尊大不遜 (そん) になって (文・写真 明石城西高 しまうのだろうか。

ち客の方へ顔を向けた。 とした表情で、やっと私た

ませんねえ。どうして中国 に接することは、まずあり

